## TO ROOM 361 阻米监督和张口 提长阿根廷TURN

鐵 制 4.1

弦、大門兵部へ並むノ上次ノ如ク申述ベマス 以へ因在京京帝四大帝ノ政弘テアリトシテはノ京 俗三次下山野の及路區のラ四種や子居りゃス

致(四部二十七年回四一四一十四四月經》下部的 トシテ的の数シャシタ。

最入記入八記信小印記 日り後り八大学会マデ日本 三次ケル回母は三年とアント会工は中位出入事金 ロ思点サファシタの

日本ノ中後ノ连後トシテ第二一部張トシテ及へ意 信小学はヨリ上ハ大学はラ言ムニュニルマテノはエ

ラレルは多ノいいこのではははシア西リマス。 日本的は及び問題の管治不可行の行メトッチ目示 二次ケル几テノ母なノ母はノー単位ラナシア思り 下少点。你如本你你不完全十九年(一九八六年) 母の、母にかりは、中心 学院及と母は母母による 思報ヤフトは公司信やフトツゼ。

医治三十一年四日部以公公司部司以对公司之一次下 **仮坐辞法ニョッチ管心サレマシュ。比ノ信意へ第**  年級売却問訟へ管理へ大学ニジャへ回回的ティアで及び知問訟へ管理へ大学ニジャへ回回的ティアではことではことではほうようとうとう。 三国ット記録を同談及とは官者中等年等、同の年 トロ海をレマック、は、日間には、日は、日は、日本(一九二二年)に対する。 ロストック。はいいは、日本日はは日本 の二、三年四八年前には区は首三十分できます。 日本ははははははは、1月1日は 日本は、1月1日日三日日ははは、1月1日日は大郎

シタ、比較な力量にサレルトは三元と云なシャシニは子草等は育人の別問信ヲ資ヘル後ニ豆なシャ国和二年(一九二七年)ニ自立合へ東京帝国大臣リマセンテシタ。

総の常言するようなのな事数官ニョッテ日本人へ伝発民館の開稿でする生ニ証以もとト空力ヲ証シテ母闘子の記念と問題のと程間公主・マラを、日本とのはは国のと問題のと母問のと相間公正はなる長日、中央の一九三一年、 第十六部分の記します。 第十六年の日には、1部1年ののは、1部1年ののは、1部1年ののは、1部1年ののは、1部1年ののは、1部1年ののは、1部1年のは、11年ののは、11年のは、1

シテ層ルト強ヘラレやシタ。 医砧職等ラスル準値ガナタレパカラヌコトヲ要配 E / 受風へ、与生意へ此ノ目的流行ノ高メニ幣求ヲ支配スルノハ日ぶニ呉ヘラレタ天命デアル、表該デアリ配等へ生函的デアリ、福東、後ニハ世界. 問シャシ々。 陸海草節被兵卒水兵ニ對スル記部ニ就テモ助語ラアルコトラ認定シャシタ。尙同天皇へ同様ニシテ、 県七宝皇ナル記部へ國家及と天皇ニ劉スルモノテ天皇ノ後青衛にニョリマシタ。此ノ初語へ国民 確(明治ニナ三年(一人元〇年) 検 競サレタ明治 毎生二年四主徒的召園家主藝的初神鼓 四ノ芬力書

と数師数役ニモ行ヘレテ居マシタ。子母校二於テハ郎ニ抑展サレテ此ノ初にハ卓生及

 (提出シマシク。
着目り除妻ヲ提出スルコトヲ命ゼラレマシク。彼ノ下月侯命ノ豆求ノ結果失內原敬受へ同大學 當局國大學ノ後授會ヨリ被死スルコトヲ夏求シタ。此節ガ文部大臣ニナツタ時彼(失內原供受ヲ京 帝 を受ってこす(し 1 九三七) 木戸侯 は父へ中央公前總統ニ平和及と國家ノ理想」就テ は引きます。 昭和十二年(一九三七年)東京帝國大忠ョリ三数 授、法政大学ョリ三名及則北ヨリ一名及助巡授敬 名及ビなト平和思想二同情アリトノ燃操ニョッテ **売磨サレマシタ。此等強摂及ビ助徴桜ノ死職ニ練** 子一同八治安維特法二ョリ日本帝國ノ關係ノ本發 二区スルトノ燃疑ヲカケラレ警察ニョリ推師サレ マシタ。私へ此ノ罪科ニョリ醫療ニ指縛サレマシ タ、鬱察智デナーケ月過シマシタ。其ノ間時々此 ノ罪科ニ問レテ馨官ョリ訳門サレマシタ。然二外 ノ刑部所ニ訟判ヲ待ツタメニ窓ラレマシタ。ソコ 子更ニ七ヶ月過シマシタ。ソレカラ私へ改雜法廷 子惣判サレマシタの彼等ハ私三強スル電機ガナカ ツタノテ型へ容録者トシテ條件付予放死サレマシ ビ黎朔サレマシタガ私ハ無罪ノ判決ラサレマシ名 私人塑酥院ノ歌劉及と無罪ノ劉決ニ領イテ大學ノ **独控トシテノ敬ノ位置ヲ同領スル馬メニ金力ヲ注** ギマシタガ不成功テアリマシタ。 昭和二十年 (1 九四五年)二谷酸トナリ型八领面 シ子強侵 二耳 任 スル徳二段語サレタノテなハソウ班シャシタ。 過去二十七ヶ年大學ノ改授トシテ、日本二於ケル 各段陪ノ忠茨ノ學生トシテノ個人的經際ニョリ軍 事訓你問聽及強育ヲ各段陪ノ亞茨及ビ大學ノ生徒 ×ノ空信三効果がアックトほヒマス 売泉ガアリマシタ元、中生二路水ノ気は円号ノ漁 円配ノ高×二へ必宜テアルト云フ信仰ヲ州造スル・ 京テアル、図号ノ陸禁民号へ生産的日立ノ路ボノ 出営品マロネ人ハ兄テノ他民族ヨリモ部元テル民 二次ヘルコトへ毎生第二二百三二章は、毎日宗主義

11 to 11, 101 p. 7

**子宣行ノ上本供通舎に容名もり** 月 日 随原学ビル内ニテ本宮ノ宮前ニ上記大内英館ハー九四大年(昭田廿一年)

到 配 仰

マ ハ弦三右ノ如ク監明ス

**宜了信セラレタリ。** 寅且正確二個節セラレ右伝過空ニョリ完分理解 育八日本節ョリ英献ニ、叉尖匠ョリ日本語ニ忠 三宣行シ且供通書ニ記名スルニ記テノ凡テノ亭 宮述ベタリ。 右大内兵信ハ予ノ口前ニテ正式 右大内兵信ハ謀供道書ニ宮毎ノ上位ク唱名スル

一九四六年 (昭和二十一年) 月 日

日本回京京二於子